

「第3回復興道路会議～岩手県～」を開催しました

道路建設課

復興道路の一日も早い完成を目指し円滑な事業推進を図るため、すべての関係者に対する事業進捗への合意形成と関係機関が連携して課題解決することを目的に、「第3回復興道路会議～岩手県～」が平成25年5月21日に釜石地区合同庁舎で開催されました。

会議は平成23年11月25日の第1回を皮切りにこれまで2回開催し、国の平成25年度当初予算の成立を受けて開催した今回の会議は、復興道路の全線事業化からちょうど1年半となる日の開催となりました。

佐藤県土整備部長はじめ、国土交通省東北地方整備局の川瀧道路部長ほか、沿線関係市町村の副市町村長、地元経済団体、報道機関などの関係者が一堂に会し、復興道路の用地進捗率が約60%に達していることや埋蔵文化財の試掘調査が約50%を終えたことなどを確認しました。

また、農林水産部森林保全課と教育委員会事務局生涯学習文化課から復興道路の整備推進に係わる担当者も出席し、保安林解除申請に係る審査事務の効率化や埋蔵文化財調査に係る調査員の増強による体制強化などの取り組み状況も報告されました。

今年度は復興加速年！

復興道路の全線開通に向けてアクセルを踏み込み、被災地の復興と県の発展が加速していくよう一層の御支援と御協力を！

佐藤県土整備部長からは「今年度を復興加速年と

位置づけ、様々な課題にも対応しながら事業推進を図る所存」との決意が示され、「これまでのスピード感を保持するためには地元の熱意が不可欠。関係者それぞれができる最大限の努力と連携が重要である」と関係者に引き続き協力を要請しました。



被災地の早期復興にかけた熱い思いを語る佐藤県土整備部長

復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い供用を目指し、地域一体となって事業を進めております。



国土交通省東北地方整備局 川瀧道路部長